

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2007-329374(P2007-329374A)

【公開日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-049

【出願番号】特願2006-160554(P2006-160554)

【国際特許分類】

H 01 L 33/00 (2006.01)

F 21 V 8/00 (2006.01)

G 02 F 1/13357 (2006.01)

F 21 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

H 01 L 33/00 N

F 21 V 8/00 6 0 1 D

F 21 V 8/00 6 0 1 E

G 02 F 1/13357

F 21 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月8日(2008.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アレイ状に配置された複数の発光装置と、

前記複数の発光装置から光導入端面を介して導入した光を液晶表示パネルの裏面に出射する導光板とを有し、

前記複数の発光装置は、

第1及び第2のリードを素子搭載面上に露出して平坦面から突出する素子搭載部を有するマウントと、

前記第1及び第2のリードに接続された第1及び第2の電極を有し、前記素子搭載部の前記素子搭載面上に搭載された発光素子とを備えることを特徴とする液晶表示用バックライト装置。

【請求項2】

前記マウントは、

板状の第1の基板と、

前記素子搭載部を有するとともに前記第1の基板上に積載された第2の基板とを有することを特徴とする請求項1に記載の液晶表示用バックライト装置。

【請求項3】

前記発光素子は、青色光または紫外光を発光する発光ダイオードであることを特徴とする請求項2に記載の液晶表示用バックライト装置。

【請求項4】

前記発光素子は、赤、緑、青の3色を発光する発光ダイオードであることを特徴とする請求項2に記載の液晶表示用バックライト装置。

【請求項5】

前記赤、緑、青の各発光ダイオードは、透光性の封止部材により覆われていることを特徴とする請求項4に記載の液晶表示用バックライト装置。

【請求項6】

前記発光素子は、前記発光素子からの光によって励起される蛍光体を含む透光性の蛍光体層が、前記発光素子の光出射面を覆うようにして設けられていることを特徴とする請求項2に記載の液晶表示用バックライト装置。

【請求項7】

前記発光素子は、透光性の樹脂層が前記発光素子の光出射面を覆うように設けられていることを特徴とする請求項2に記載の液晶表示用バックライト装置。

【請求項8】

前記導光板は、前記光導入端面において、前記マウントの前記素子搭載部を位置させる凹部を有することを特徴とする請求項2に記載の液晶表示用バックライト装置。

【請求項9】

前記導光板は、前記凹部に面した所定幅に蛍光体を含有した領域を有することを特徴とする請求項8に記載の液晶表示用バックライト装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】